

令和8年度第63回東村山市民スポーツ大会  
ジョイフル・スローピッチ  
ソフトボール大会



期日：令和8年6月21日（日）・28日（日）

会場：東村山市愛の泉みんなの運動公園

グラウンドA・B面

共催：東村山市、公益社団法人東村山市スポーツ協会

主管：東村山市ソフトボール連盟

<http://higashimurayamasoft.com>

協賛：西武信用金庫東村山支店



# 令和8年度 第63回東村山市民スポーツ大会

## ジョイフル・スローピッチソフトボール大会開催要項

1. 目的 ソフトボール競技を通じて、市民相互の親睦と交流を図るとともに、市民体育大会の一環として、ソフトボールのより一層の普及を図る。

2. 共催 東村山市、(公社)東村山市スポーツ協会

3. 主管 東村山市ソフトボール連盟

4. 協賛 西武信用金庫東村山支店

5. 大会役員・競技委員・審判員 (敬称略)

名誉会長 田口 弘

大会会長 下澤由起夫

競技委員長 小林久美子 副競技委員長 古姓鉄也

審判委員長 城川善行 副審判長 古川義夫

大会会計 渡辺公夫

事務局 河野栄作 楠 健二

競技委員 稲葉昭一 畝本 新 後藤和夫 靈鷲 直

中山政利 吉原重文 渡部隆志

審判員 日本ソフトボール協会登録公認審判員

6. 大会期日及び会場

6月21日(日) 28日(日)

東村山市愛の泉みんなの運動公園グラウンドA・B面

※グラウンドコンディションが不良又は荒天の場合の試合中止の判断は連盟で行い、試合当日7時以降に各チーム代表へ連絡します。

7. 開会式 6月21日(日) 8時半～ 運動公園グラウンドB面

8. 表彰 優勝、準優勝、第三位。ただし、メダルは各20名。

9. 参加資格

(1) 東村山市ソフトボール連盟加盟チーム及び、原則、東村山市に在住、在勤、在学する者で構成するチームとする。

(2) 参加チームは、必ずスポーツ保険に加入していること。

(3) 捕手は、ヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用してもよい。また、打者、走者及び守備者は、ヘルメットを着用してもよい。

(4) 種目

男子の部 (※男子チームは女子との混合編成を認めます。) 女子の部

10. 問合せ先

下澤 090-1400-4948 E-mail [y.shimo.shimo@gmail.com](mailto:y.shimo.shimo@gmail.com)

11. 監督・代表者会議、抽選会

6月12日（金）19時～ 東村山市スポーツセンター 大会議室

12. 選手登録 選手登録表は、当連盟ホームページからダウンロードできます。  
当日、「選手登録表」を試合開始前に本部受付へ提出してください。

13. 参加費 8,000円（連盟加盟チームは6,000円）

※銀行振込により6月12日（金）までに支払いをお願いします。

金融機関名：東京みらい農業協同組合 東村山支店

金融機関番号：5077 店舗番号：001

貯金種類：普通 口座番号：0044491

名 義：ヒガシムラヤマシソフトボールレンメイ  
カイチョウ シモザワユキオ

## 令和8年度 第63回東村山市民スポーツ大会

### ジョイフル・スローピッチソフト大会 大会要領

- 1 チーム編成：選手登録は、監督、主将、コーチ、スコアラーを含む25名以内とし、選手を兼ねる場合は選手登録を行う。
- 2 ユニホーム番号：監督30、主将10、コーチ31、32、選手は1～99番。
- 3 打順表：出場する全選手を記入し、試合開始30分前に4部綴りを提出する。
- 4 試合方法：
  - (1) 試合は、7回50分制とする。試合開始後、50分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
  - (2) 得点差によるコールドゲームは採用しない。
  - (3) 最終回の宣告は、イニングの始めに審判員より必ず行う。審判員が「次のイニングを最終回にする」と通告せずに、先攻チームの攻撃中に50分を経過してしまったときは、そのイニングを最終回とする。ただし、そのイニングの先攻チームが得点制限ルールを適用されていて、後攻チームの攻撃中に50分を経過したときは、次のイニングを最終回とする。
  - (4) 1イニングの得点が、5点に達したら攻守交代とする。ただし、ホームランの場合のみ5点を超えても得点とする。なお、最終回は得点制限を行わない。
  - (5) 予選リーグにおいては、勝ち点制を採用する（勝ち：2点、引き分け：1点、負け：0点）。勝ち点が同点の場合には、抽選により勝敗を決める。
  - (6) 予選で勝ち上がった各ブロック上位2チーム（※）による決勝トーナメントを行う。決勝戦において同点の場合は、タイブレーカーを採用し、それ以外は抽選により勝敗を決める。

※試合方式は、参加チーム数により変更となることがありますので、ご了承ください。

- 5 競技規則：日本ソフトボール協会 2026 年ジョイフルオフィシャル及び特別ルールに則り行う。
- 6 競技場：
  - (1) 本塁から外野フェンスまでの距離は、男子 58m以上 69m以内、女子は 50m以上 61m以内とする。塁間距離は男女とも 18.29mとする。当日、ホームランゾーンを設ける予定。
  - (2) 投球距離は、男女とも 12.19mとする。
  - (3) ホームプレートの後ろにストライクマットを設置する。
  - (4) 打者用のホームプレートの外に走者用の第二ホームプレート（スコアリングプレート）を設置し、三塁ベースから第二ホームプレートの中心に向かって走者用のランニングラインを引き、三塁と第二ホームプレートの中にランニングラインと直角にリターン禁止ラインを引く。
- 7 プレイヤー：
  - (1) 守備のプレイヤーは、男女とも 10 人である。
  - (2) DP、FPは、採用しない。
  - (3) エキストラプレイヤー（EP）を採用したチームは 11 人で攻撃を行う。エキストラプレイヤーは、打撃だけでなく他のプレイヤーと交代して守備することもできる。
  - (4) スターティングプレイヤーであれば、エキストラプレイヤーも再出場できる。
  - (5) プレイヤーが走者になったとき、怪我等により走者として継続できなくなったときはテンポラリーランナーを使用することができる。アウトカウントに関係なく、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者をテンポラリーランナーとする。
- 8 投球：
  - (1) 投手は、軸足を投手板に触れて立ち、自由足は投手板の横幅よりも内側で地面に触れていること。（前でも後ろでもよい）
  - (2) 投手は、身体の全面を打者に向け、球を片手または両手で持って、1 秒以上 5 秒以内完全に停止した後に、投球動作を起こさなければならない。
  - (3) 投球は、打者の身長以上、身長の 2 倍以下の高さでアーチを描くように投げなければならない。  
(注) 上記（1）～（3）に違反すると、不正投球でボールデッドになり打者にワンボールが与えられる（走者は進塁できない）。ただし、この投球を打者が空振りしたときはストライクで、打者が打ったときは不正投球が取り消され、試合は継続される。
  - (4) 投球が規定通りで、ホームプレートかストライクマット上に落下した場合は（少しでも触れていればよい）ストライクと判定される。
  - (5) 投手が故意四球を望むときは、その旨を球審に申し出れば投球する必要はない。
  - (6) 投球が地面にふれるかストライクマットを通過したらボールデッドになる。
  - (7) 捕手は捕手席後方で構え、投球がワンバウンドした後で捕球するようにする。
  - (8) 準備投球は 1 分を限度とし、初回又は投手交替時は 3 球、それ以外は 1 球とする。

## 9 打撃：

- (1) 打者が投球をバントまたは、チョップヒット（打球を地面にたたきつけてバウンドさせる 打法）をするとアウトになる。
- (2) ツーストライク後のファールボールは、打者アウトになる。
- (3) 死球は認めず、ボールとなる。

## 10 走 塁

- (1) 投球を打者が打つか、ホームプレートに達する前、又はワンバウンドする前に走者が塁を離れると離塁アウトになる。
- (2) 打者が空振りしたときの離塁は、走者をアウトにしないで元の塁に戻す。ただし、離塁アウトは優先される。
- (3) 盗塁は、認められない。
- (4) 走者は守備者との衝突を避けるためスライディングをしてもよい。
- (5) 守備者は、走者との衝突を避けるように努め、走者のために塁の前面の半分以上を空けておかなければならない。
- (6) 走者が得点しようとするときは、ランニングラインに沿って走り、第二ホームプレート（スコアリングプレート）に触れなければならない。また、走者が間違っ打者用のホームプレートに触れたり、跨いだりした場合走者は直ちにアウトになる。
- (7) 走者の第二ホームプレートへの触塁より先に、守備者が打者用ホームプレート上（ストライクマットを含む）で球を確保すれば、走者はアウトになる。リターン禁止ラインを超えた走者に直接タッチ（触球）してもアウトにはならない。
- (8) 走者がリターン禁止ラインを超えた後、三塁に戻ることはできない。戻れば走者は直ちにアウトになる。

11 ベンチ：組合せ番号の若いチームを一塁側とするが、連続試合の場合は移動しないものとする。

## 12 用具：

- (1) ボールは、日本ソフトボール協会推奨ジョイフルスローピッチソフトボール専用球を使用する。
- (2) 金属製スパイクは禁止する。
- (3) 捕手は、ヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用してもよい。
- (4) 打者、走者及び守備者は、ヘルメットを着用してもよい。

13 審判員：審判は、日本ソフトボール協会登録公認審判員が行う。なお、塁審及び外審について、参加チームによる帯同審判制を採用する。

14 装飾品：腕時計、ブレスレット、イヤリング、ピアス、ネックレス等身体の外に出る宝石装飾品は着用しない。

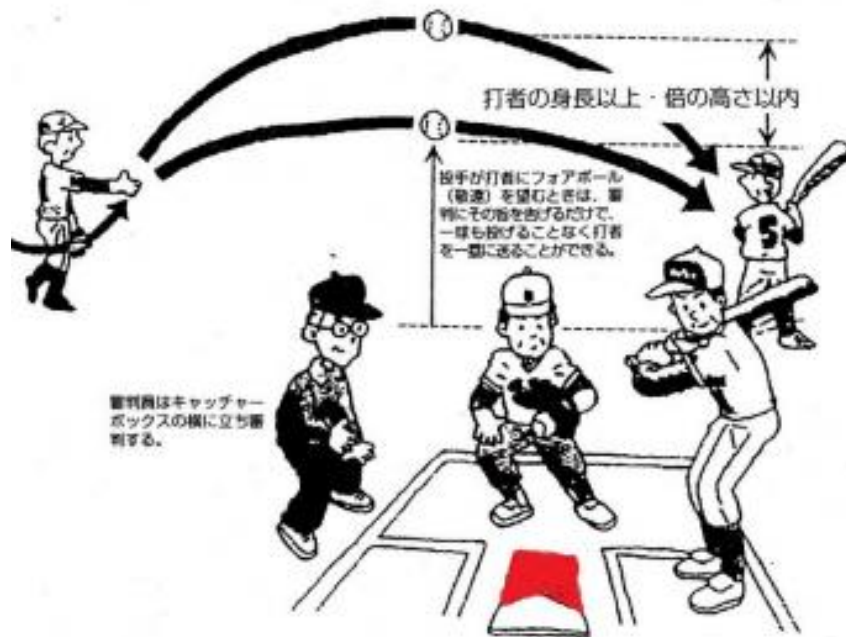
15 ボール回収：攻守にかかわらず、ベンチ側チームが回収する。

16 グラウンド整備：勝利チームが行う。ただし、最終戦は両チームで行う。

17 喫煙：競技場内は禁煙です。

18 ごみ処理：空き缶、弁当屑等は、各チームの責任で持ち帰る。

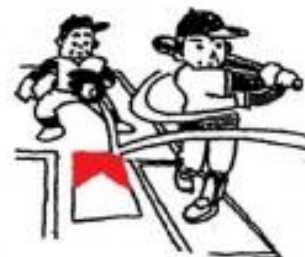
投 球



ストライク

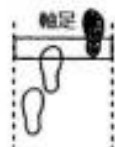


捕手は、ワンバウンド以上で捕る。

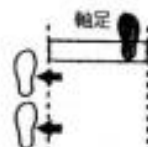


投手は、軸足を投手板に触れて立ち、他の足が投手板幅より内側で地面に触れていればOKです。  
(前方でも後方でも可)

正しいセット



不正のセット



投手は、正しいセットの状態で1秒以上5秒以内の間、片手または両手でボールを保持し静止しなければいけません。

競技場 (ファーストピッチに準ずる)

(cmは四捨五入)

